

1 社会・治安情勢

(1) テロ情勢等

イスラム原理主義等の国際テロの当国への浸透は今のところ確認されていないが、当局はそのような状況の発生を未然に防ぐため、警戒を強化している。国際テロ関係の暴力的な集団は認められない。

また、日本人を標的とした営利目的の誘拐等に関する情報についても確認されていない。

(2) 一般治安・犯罪状況等

新型コロナウイルス感染症対策に基づいて経済社会活動が制約を受けてきたことがザンビア社会の各所に影響を及ぼしていることが懸念される。一方、農業生産が好調だったことで、地方における治安の不安定化要因は低減したと見られる。新型コロナウイルス対策が比較的奏功していることもあり、犯罪の発生は今のところ低く抑えられているが、窃盗、置き引き、ひったくり、スリ等の一般犯罪は目立っている。

(3) 社会情勢

ア 来年実施予定の大統領選挙に向けて、9月に入ってから10月12日時点で、与党P F関係者による車列を組んだ宣伝活動、野党U P N D及びN D C関係者による集会等の政治活動が3件発生しており、各政党関係団体の活動が徐々に活発化している。

イ 昨年から続く水不足により電力供給に甚大な影響が出ており、地域によっては日に10時間程度の停電が発生し、人々の生活に重大な影響を及ぼしている。これらが特に貧しい階層の人々の不満の増大につながり、治安情勢にも悪影響が及ぶことが懸念される。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 在留邦人が多数居住するルサカにおいても車上荒らし、住居侵入などが断続的に発生している。また、コンパウンド内では日中であってもスリや放火などが発生している。

(2) 邦人被害事案

ア 7月28日19時頃、ルサカ州ルサカの当館正面において、不審者4名組の集団がトラック1両で当館前に乗り付け、当館増改築工事のため、関連邦人企業が雇用する謝金警備員のための警備用ボックスを無断で運びだそうとしていたところ、当館門衛所の謝金謝金警備員及び警備会社の緊急対応チームが同集団の活動を阻止した。その後、1名が警察に逮捕され、その他は車両で逃走した。なお、同集団は当地電話会社の社員を名乗っていた。

イ 9月20日15時頃、ルサカ州ルサカのレオパーズヒル道において邦人が車両を運転中、与党P Fのデモ隊車列(20台ほど)が邦人車両を追い抜く際、デモ隊車両から身を乗り出した関係者1名が車両側面を殴打した。人的・物的被害はなし。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 7月11日10時頃、ムチンガ州ナコンデのショッピングセンターにおいて、商店を経営するタンザニア人2名が現金を持って同センター内にある銀行に向かい移動していたところ、AK47や拳銃を装備した武装勢力3名に襲撃された。同犯行は、ショッピングセンターで公衆の目の前で行われ、被害者は現金80,000クワチャが奪われた。

イ 8月28日、ルサカ州ルサカのカムワラ・ブリッジ（KAMWALA FLYOVER BRIDGE）の橋下において、40代男性が陰部を切断されて意識不明の状態で見倒れていたところを発見された。犯行は同日早朝に行われたと推測されるが、犯人はまだ捕まっていない。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

5 日本企業の安全に関する諸問題

問題とされる情報に接していない。（了）